日本赤軍・「よど号」グループ

日本赤軍

日本赤軍は、平成12年に最高幹部の 重信房子(22年8月、懲役20年が確定) が逮捕された後、13年4月、同人による獄中からの日本赤軍「解散」宣言を 受け、5月には、組織としても「解散」 の決定を表明しましたが、その後もム ーブメント連帯という名称で活動を継 続しています。レバノンに亡命中の岡 本公三を含む7人の構成員が依然とし て逃亡中であり、武装闘争路線を放棄



していないことから、その危険性に変わりはありません。

警察では、今後とも、逃亡中の構成員の早期発見・逮捕に向け、関係機関と連携し情報収集を強化します。

「よど号」 グループ

昭和45年3月、田宮高磨(故人) **69** 人が、東京発福岡行き日本航空351便、通称「よど号」をハイジャックし、北朝鮮に入国しました。この「よど号」犯人9人のうち、現在北朝鮮に残留しているのは、小西隆裕65人とみられています(うち岡本武については死亡説もありますが、真偽は不明です。)。

また、「よど号」 グループが**日本人拉致**



に深く関与していたことが明らかとなっています。警察は、**魚本**(旧姓・**安部**)**公博**ほか2人について、それぞれ結婚目的誘拐容疑で逮捕状を取得し、国際手配を行っています。「よど号」グループは、政府に対し、拉致容疑事案の被疑者としての引渡し要求を撤回するとともに、帰国をめぐる話合いに応じるよう要求しています。